

# 沖縄県ハンドボール協会 2024 年度インテグリティ研修会

## 「子どもを伸ばす親の条件(島沢優子)」のアンケート調査結果

### <1> 講演の感想を教えてください (アンケート回答者 372 名からの抜粋)

- 1 保護者と指導者が共に子供の育成を見直した人が、子を伸ばすということが勉強になった。
- 2 『親への十訓』考えさせられます。
- 3 指導者、保護者目線の両方から考えさせられ、大変良かった。
- 4 保護者が家庭のほうで、今日の講演であった通り生活指導等してくれると、指導者としても助かるなと感じた。地域性や家庭によって生活面での指導や部活に対して、学校に対しての考え方が異なる部分があるとも感じてます。本日の講演は学校や地域でも聞けたりするとより良くなるのではないかと感じました。
- 5 本日の公演を通して多くを学ばせていただきました。今後スポーツがあるべき姿であるために、指導者として選手を取り巻く環境を整えることが重要だと思いました。子供達の失敗も「学び」としっかり捉えてあげて、自ら意欲的に取り組める環境や、如何なる場面でも激励してあげられるような環境を作ってあげたいと考えることができました。本日はありがとうございました。
- 6 島沢先生の講義は、自分の経験や有名なスポーツ選手の話が入っており、指導者としても親として聞いてとても楽しい公演と感じました。
- 7 講演の内容が、指導者を始めた時から取り組んだことと概ね一緒だったです。
- 8 指導者だけではなく、保護者の養育の大切さもセットでチームの育む力になることのエビデンスが具体的な例を挙げながら示された研修でした。
- 9 我が子の努力を知っているからこそ、応援ではなく期待と、干渉が子供からスポーツを通して失敗する権利を、奪っているなと気がつきました。
- 10 子供たちやコーチ、父母で構成する部活動は世代間の価値観、考え方にどうしてもギャップがあるので会話していくことが大切だと感じました。
- 11 スポーツを通して人間性をつくるのが大切や子どもの主体性等、近年大人でも言われることが多く指導もさながら仕事にも役立つ話でした。
- 12 結構期待して来たが、島沢さんご自身の体験の話が多く、不満足。島沢さんが取材した内容をもっと聞きたかった。また「先日野球の世界大会であるピッチャーがユニフォームを忘れてニヤニヤしてた。あり得ないと思ったがそういう文化なのかな？」とおっしゃっていたが、沖縄をバカにされたように感じた。お話全般そうだが先入観が強い方なのかなと感じた。
- 13 今のご時世、スポーツに対する保護者との関わりの中で、指導者としてどのように子供達を導きしていくのか、どんなクラブにするのかを明確に伝えられるチーム作りをしていかないと強く感じています。指導者としての想いも乗せて、チームの目指す姿を常に言葉に出して保護者にも共有し、子どもも指導者も沢山のチャレンジを楽しむ、ハンドボールを生涯楽しむことをビジョンにやっていきたいと思いました。

- 14 指導者としてはもちろん、親として考えさせる内容でした。そして、教員なのですが学級づくり、学級経営にも活かすメソッドがあると感じました。
- 15 様々な話があったが、それぞれのエビデンスが気になりました。全体の割合や数値などもあるとより納得が増すと感じました。
- 16 忘れ物を届けたことがあるので、うちあたりしました。
- 17 学校生活を送る子供達の自己肯定感をどう上げるか考えている中、やはりスポーツの世界でも重要ということが知れた。
- 18 干渉しないとは放ったらかしにするとは違う。あなたはどうしたい、どう考えると問いかけ、自分で答えを出させる事も大事だと学びました。ポジティブ環境が作れるようにします。
- 19 子どもたちのプレイに対して、こうした方がいいなど伝えることがあるが、なぜそうなのかと聞くことはなかった。自分の考えだけを伝えていたのではないかと考えさせることになりました。チャレンジを認めて、なぜそのプレイを選択したのかを聞くことで自分自身の考え方が変わるようになるのではないかと思います。
- 20 保護者と共に子育てをするつもりで指導すべきだと感じた。どんな子どもを育てたいのか、部結成でハッキリと伝えることが大切。
- 21 子供に任せるは放任ではないという所が指導者の関わり方の難しさであり腕の見せどころかなと思った。
- 22 インテグリティ研修は昨年も受けさせていただきましたが、今回は親の役割についてどのように家庭で子供のポテンシャルを高めることができるか、部活動や指導陣との関わり方が学べてよかったです。
- 23 今まで怒って叱ってやらせる抑圧指導を受けてきて、大人になった今では感謝してはいるものの、認めて問いかけてチャレンジさせる主体性の要求に切り替えていけないといけないなと思いました！
- 24 とても勉強になりました。実際に一流の選手に関わってきた先生の話で、納得できるものばかりでした。
- 25 自分も1歳の子供がいるので、これからの子育てのヒントになった。主体性をもった子どもを育成したいと思っているので、これからは子どもに考えさせる、子どもに選択させる、失敗から何を学ぶか考えられるような指導者になりたい。
- 26 主体性やポジティブな感情を持たすことが大事なのは理解できたが、それを与えることがとても難しいんだと感じました。もっと生徒の目線に立って、自分が逆の立場なら何をして欲しいのかを考えながら教えていきたいと思いました。
- 27 自分たちのチームの問題がわかり、改善に向く方法も明らかとなり参加してよかったです。
- 28 みんな子供の為と思ってやってると思うが、それは親やコーチの自己満足になってる事が多いのかもしれない。自チームも、子供達の主体性が最近から感じられてきてから良い方向に変わってきている気がします。
- 29 考えさせられる講演でした。子ども達、指導者、保護者が一枚岩になった時が伸びしろが大きいこともまたその逆も経験している中で何が中心にあるのかを改めて考えるいい機会になりました。
- 30 自己肯定感、その子が頑張っていくベースとなる。褒めて認めていく。など、良かった。
- 31 「君はどう考える？」考えさせる事の大切さを改めて考えさせられました。
- 32 私も当てはまる事もあって、改めて気がつきました。ひどくなる前で良かった。
- 33 私も干渉してるつもりはないけど、講演会を聞いて、干渉の中に入るのかなと思いました。

34 貴重なお話を聞いて良かったです！ありがとうございました。家での役割なども与えているのは良かったです。息子が部活をしていますが、やる気がなくなったり気分が落ちたりする為、主体性を育みながら家では明るく、ポジティブに息子をサポートしていきたいと思いました。

35 ハンドボールの指導者として、親として非常に考えさせられる内容でした。子育てをしていてダメな部分がありすぎたので、今日妻と話し合っ、明日にでも子どもたちに謝罪会見を開きます。今日島沢さんの話が聞いて本当に良かったです。今後の私の生き方、考え方に大きなプラスになると思います。ありがとうございました。

36 認め、褒めることが生徒の主体性を育てていくのではないかと感じました。教師や親の理想を押し付ける形ではなく、子どもたちが何をしたいか、それを認め、尊重し、褒めることが大切だと改めて学ぶことができました。

37 指導者として参加でしたが、保護者でもあるので、家庭で子供たちの接し方で反省ばかりでした。

38 子育ての話がメインでしたが、自分のチームの保護者とも新年度の部活開きで共有したいなと思いました。(家庭で一役を与える、朝自分で起きるなど)

39 科学的な面から抑圧的な指導方法の負の側面を説明しており、非常に説得力があると思いました。

40 家に帰って子どもたちに夫婦で謝罪会見をしたいと思います。

41 子供と親の価値観が一緒ではない。お互いの意見・考えを尊重して子供にはまず考えさせる・問いかけを私生活・スポーツに取り入れていきたいと思います。

42 スポーツをするこの親としても育児をする親としても実践できる内容ばかりでした。大変貴重な講演会ありがとうございました。

43 怒って、叱ってやらせる『抑圧指導』から、認めてから問いかけて、チャレンジさせることが大切であること。私自身もこのことを念頭に置きながら指導に取り組んでいます。ハンドボールという競技と言うよりも、体育の授業でも取り組んでいます。何が自分に足りないのか。何をすれば課題に取り組み達成できるのか。選手・子どもたち自身が考え、実践できれば問題ないと思います。ただ、それが出来るようにするために必要なのが指導者や保護者だと再認識することができました。『学ぶことを辞めたら指導者も終わり』私たち指導者が第一に学び、それを選手・子どもたちに還元していかなければいけないと思いました。

44 転ばない先の杖で声掛けが多くなりがちなので、見守りの体制を意識したいと思います。

45 意識改革の一助となりました。子育てもコーチング共通していることは自分への矢印かなと感じました。

46 非常に良かった。指導者として、保護者の想いを聞き頑張りすぎている部分もあった。そのため選手に必要な以上の事を求めたこともあったかもしれない。保護者、選手、指導者とじっくり話し合い知恵を絞って良い方向性を考えていけないと感じました。

47 私の指導しているチームは弱いです。私は現在、勝つに越したことはありませんが、それよりも、自分で自分をモチベートしていく人材育成に力を入れています。練習時間、メニュー、オフの日、スターティングメンバーを生徒に決めてもらっています。なかなか勝てませんが、雰囲気やモチベート高く練習をしてくれているように思います。今日の講演は、過去さまざまな失敗から今の指導に至る私の指導に勇気を頂きました。

48 自分が教えられてきた事が正解ではなく。時代に合わせたやり方を学ばないといけないと漢字ました。

49 保護者の応援の仕方子供たちを苦しめることがあることがわかりました。

50 現代はより指導者の指導力を求められている事を学ぶことができた。試合に勝つ以外にも子ども達にとって大切な時期にある成長や能力を育むように取り組み、ポジティブな声かけ、子どもが部活動に対する主体性を持った行動、自己肯定感の高い選手を育成していけるようにコーチングしたいと思った。

51 認めて、問いかけて、チャレンジさせる主体性の要求に切り替える！叱らず問いかける！ビジョンとミッションを掲げる。→こういう使命があって、そのために何するのか。好奇心、自由と主体性、いつもご機嫌（家庭は安全基地であるために）家でも一役もたせる！キーワード3つ！①ポジティブ（心理的安全性を確保する、自己肯定感を高める、自尊感情を高める→どうにかしなくても変わらない所を認めてあげる）、②主体性、③自己肯定感など、上記の言葉に納得・共感し、また響きました。中学生と小学高学年になった子ども達に勉強も部活もしっかりして欲しい！と思い色々話する中で、変わらない子ども達にイライラすることが多くなり、どうすべきかわからない時期でしたが、干渉しすぎていたかもなと気がきました。今後は子ども達を信じて主体性をもたせてまずは本人達がどうしたいのかを問いかけ、決めたことを見守る方向で関わってみたいと思いました。わが家の子育てビジョンを話し合い、子ども達にも伝えていきたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。

52 「子供はスポーツを楽しみたいだけ」に共感。「干渉しない」という信頼。子供達に考えさせる、問いかける。保護者と指導者が一枚岩なチームは最強。チームのミッション、ビジョンを保護者に共有。ウヤマヤなどで確認する。

53 ・立ち場を変えて考えてみることへの大切さ、海外（ヨーロッパ）は子どもの関わり方が父母や指導者へ教育が行き届いている。応援ハラスメントが予防出来ているということを知った。・世界で活躍している日本人スポーツ選手の親御さんが、みんな統一して同じ問いかけをしているという話がとても感銘を受けた。「どう考えるの？」と、子どもに伝える。

54 講話のみでなく、途中動画などで、客観的に親の関わり方を考えることができ、とてもよかったです。講師の先生が仰られていたように、聞く→考える→アウトプットするという場があれば、もっともっと沖縄のハンドボールに関わるコーチや親の行動が変われることができるかもしれません。多くの保護者にも、聞いてもらいたい内容でした。聞きたいけれど、移動の関係で参加できなかった方などもおられると思います。保護者向けにも今後このような活動を行なっていただけるなら、直接会場へ来られない方、もしくは会場のキャパシティの関係で、人数制限となるようであれば zoom でのウェビナー受講など検討をお願いいたします。

55 子供と親の試合の立場が入れ替わった時のシミュレーション映像を見て、はっとさせられた。普段から、子供に考えさせる環境を作らなければと感じた。スポーツを楽しみと感じることができる関わりをやってきたい。

56 指導者と保護者との関係をもっと重要視する必要が有ると感じました。指導者のミッション、ビジョンなど色んな事を共有して、同じ方向性で子供達の成長を支援する事が大切だと感じました。

57 これまでの研修では、指導者の指導のあり方をアップデートすることを狙いとした研修でしたが、本日の講演では指導者だけでなく保護者の部活動に対する考え方やわが子への接し方を改革する必要があるということが分かりました。そのためには、指導者もチームの目指すべき姿を保護者に伝えて共有していくことが大切であるということが分かりました。これまでの部活動指導を振り返ると、若い頃の長い経験から保護者とはだいぶ距離を置いて指導してきたと感じています。そのことが保護者の理解や協力を得にくい環境を作ってきたのではないかと、という私自身の点検にもなりました。チーム指導にまた関わる際には、保護者とビジョンの共有をして子どもたちと関わってほしいと強く思いました。子育ての話がされていましたが、その話の中で、過干渉の私がいるということに気づかされました。毎朝、子どもたちを何時だよ、と言って起こしていたり、雨が降ったら送っていくのは当たり前であったり、家庭の中で役割を与えていないことなど、子どもが自立して自分で学ぶことを奪ってしまっているという点です。私の子育てやチーム指導において共通した改善点だと認識できました。これからの生活において、島沢さんの仰っていた、①ポジティブ、②主体性、③自己肯定感の3つを大切に、家庭は心理的安全性を確保する場所であるという言葉をお忘れず子育てや部活指導に携わりたいと思いました。本日はありがとうございました。

- 58 「立場を変えて考えてみる」「自分で考えさせる事が重要」干渉し過ぎる親が多くなってる気がします。子どもより先に親が解決しているので、親には見守ることをお願いし、共有していきたいと思いました。
- 59 ポジティブな環境や発言が子ども達の意欲を維持続ける。抑圧だけでは意欲をアップすることはないと強く感じたので、これからの自分の人生で、ポジティブな声かけを多くして子ども達に接したい。
- 60 親として子どもたちに将来どういう社会人になりたいか問いながら考えながらかかわりたい。
- 61 保護者として、コーチとしてとても勉強になりました。子供をリスペクトし叱らず問いかける。子供達が楽しく伸び伸び出来るような環境を作りたいと思いました。また親として勝つことが全てじゃない、楽しんでプレーを出来るようにお家の環境を良くしてあげたい！
- 62 県立職員向けの R5 年度研修と同じ講師で、内容も特に大きくは変わらなかった印象。
- 63 すぐためになった。部活動の保護者で講演に参加したい。
- 64 こどもたちたちに主体性を持たせる声掛けや行動をしていないなあと親として反省しました。できないことに目を向けてしまう親になっていて、家がいつもご機嫌でないことに気付かされました。とても有難い講演でした。動画では過去を思い出して泣きました。こどもたちを潰す行動がありました。本当にありがとうございました。
- 65 チームを指導することは本当に大変な事だと思います。様々な苦勞がありますが、選手、保護者としっかりコミュニケーションを図って、みんなにとって、居心地の良い、それぞれが成長していけるような環境にしていくことが大事だと思います。
- 66 私自身、2024 年の 4 月からハンドボールの指導者となり、1 人で指導していました。最初の頃はプレイヤーに理不尽に怒ってしまったり、いいプレーをあまり褒めておらず、プレイヤーと対立することもありました。本日の講演で、特に印象に残ったのは「悩み等認めて、問いかけて、チャレンジさせる「主体性の要求」」です。私は 4 月から別の仕事をするため、ハンドボールを指導することは厳しい状況となります。残り数日しか指導できませんが、今回の講演を参考に、主体的なプレイヤーを育成したいと思います。本日は貴重な講話、ありがとうございました。
- 67 子供の応援、感想はポジティブな事だけを言おうと思った。長女長男にもユニホームを届けた事があります。また、今の子ども。私の教育の問題！も大きいんだなと思いました。
- 68 私は先生の講演会でいくつか考えさせられる事が多くありました。私の場合、子供の部活の親と交流が苦手で付き合いがないため、周りが気になり、子供に少しプレッシャーを与えていたかも知れません。何があっても子供を信じて、励まして残りの部活の時間を楽しんで欲しいと思いました。
- 69 選手を育てるのは保護者と指導者の連携が不可欠であると感じています。私は親としても娘、息子たちとともにサッカー、ハンド、ドッチボールというスポーツに関わっています。選手へのより良いサポートは保護者の理解が必要だと考えました。また、選手たちとコミュニケーションを深めるために問いかける機会を増やしていきます。
- 70 子どもを伸ばす大人になるために、『干渉しない』という信頼。あなたなら、どうしたい？あなたなら、どう考える？の声かけができる主体性を大切にする指導者。しかし、私にとって『干渉しない』主体的に考えられる・答えられる子ども(選手)育成が難しく課題である。子ども(選手)が、自ら考え課題解決(答えが出せる)ができるための指導の工夫と指導者としての学びが常に必要だと再度考えさせられました。
- 71 全く正反対な子育てをしていて恥ずかしいかぎり。まずはこの様な講習会で自分の意欲を高める事が大事だと思います。
- 72 大人の応援だと思っている声かけが、ときには子どもたちのプレッシャーや不安につながっているということを言わないとを実感した。スポーツは遊びの一つ。それを通して成長していけるようにどんな関わり方が良いか知る事ができた。

73 「どう?」「どうしたらいいと思う?」の問いかけを大事に、子供ファーストの指導を心がけています。学生時代は戦術重視で勉強になったが、楽しさはあまり感じることはありませんでした。社会人でのプレーはお互いを尊重するチームでした。楽しかったし、何より学生時代よりもハードな練習をし、スキルも上達しました。今日の公演のキーワード「主体性」は本当に大事だと感じています。これからも子供の話を聴く指導者でありたいと強く思いました。保護者と共に子供ファーストの環境で支えられるきっかけを与えていただきました。ありがとうございました。

74 動画や日本のトップアスリートの子供時代のエピソードも交えて講演されていてわかり易かったです。チームのミッション、ビジョンをしっかりと据えてチーム作りを出来たらと思いました。

75 選手の主体性を育むこと、とても大切で子どもたちの成長に効果的なことだと常々感じています。普段、選手と一緒にチームの目標を定め、それぞれの目指す姿をイメージ（どんなプレーができるようになりたい、何勝する、など）することをチームで行なっています。選手の「楽しい」や「もっとやりたい」をもっと見つけ、選手が自分の目指す姿に近づけるように指導していきたいです。貴重なお話をありがとうございました。

76 ヨーロッパのサッカーチームの動画を見て、親や指導者の熱心な応援や指導は何なのかを改めて考えさせられる機会を得ることができた。子供たちは楽しむ環境がのびのびと練習し、上達することができるため、保護者や指導者ができることはその環境作りと一方的でない言葉かけであると思った。

77 今回の講演会で、スポーツはカテゴリー別に楽しみながら伸びていくのが良いと思った。圧力的な指導ではなく、主体的に取り組める指導を行いたいと思いました。子どもたちの目線に立ちながら指導できるように心がけたい。

78 スポーツをする上でチームのミッションやビジョンを掲げて、指導者、子どもたち、保護者間で共有することが大切だと感じました。今、わたしが所属しているチームにビジョンはありますが、まだ保護者間まで浸透している感じはしないです。今後、保護者会等でしっかりと共有していきたいと思います。また、大会等で、指導者の暴言を見聞しますが、保護者勝利主義から指導者もジレンマを抱えていることを知りました。決して指導者だけの問題ではないんだと。暴力根絶!! 暴言や暴力に頼らない指導を目指すべきだと思いますので、チームのミッションやビジョンに盛り込み共有すべきだと思います。そして、子どもたちの主体性を伸ばすために、子どもたちに問いかけ考えさせる!! チャレンジさせる!! 子どもたちの意見を尊重し、必要があればアドバイスする。ことが大事なんだと学びました。今回は貴重な講演をお聴かせいただきありがとうございました。

79 ポジティブ、主体性、自己肯定感が我が子を成長させるキーワード聞いて納得した。我が子にこの三つの力を身につけさせたい。指導するときは選手を我が子と同じように指導するべきだと強く思った。

80 可哀相から何も生まれないなど名言が多いなと、思いました。質疑応答の時間が多くあって参考になりました。

81 私は怒鳴られる指導も見守ってもらう指導両方を経験しました。両親は私に押し付けた教育をしたこともありません。あなたが決めなさい。決めたなら自分の力でやり抜きなさいという教育でした。自分自身本当に恵まれた環境だったと今日の講演を聞いて改めて感じました。

82 子供自身がどうしたいのかを尊重する事。親への十訓を見て、もう一度子供のサポートの仕方が子供にとってプラスになっているか考えたい。

83 組織弱体化の為のマニュアルの存在。それに当てはまる企業や教育は未だに散在していて、意見を述べる人材が、悪く評価される事がまだ多々あるのは問題だと考えます。私はまず、意見を述べられる人になって行く為に、また人の意見を聞き入れられる人になる為に、そして話し合いが出来、新たな答えや選択を出来る人間になれるように、私自身、そして子供たちが成長していけるように、手を差し伸べられる人間になれるように努力したいと思います。

84 今、部活で問題を抱えている中で、タイムリーな内容の研修だったので、たくさんの気づきがあり考えさせられる事がありました。問題となっている張本人(外部コーチ)が、今日何かを感じてくれる事を切に願っています。

85 スポーツだけでなく子育てにおけるスポーツがメインでしたが、いろんな場面でも同じかなと思いました。自分は教員をやっていますが、学級経営においても1人一役だったり、主体性を伸ばさせることで、スポーツをやった人でもうまく成長させることに繋がられるなと思いました。ところどころ専門用語で難しい単語があったので、自分で調べて理解して他のスポーツの顧問の人たちにも話ができたかなと思いました。

86 子供の応援、サポートをしているつもりで指導やアドバイスを行っていたが、逆の立場になった時にその言葉や態度は指導として正しいのか？子供のやる気をなくす様な抑圧指導になっていないか？気付かされる場所があり、今後の指導方法などを考えるいい機会になりました。

87 自分の子どもにやっちゃっていた。チームの指導者としてはゲームを作っているのはあなた達だから何が足りないのか考えさせていたが自分の子どもには自分のプライドや考え方をぶつけていたと反省しています。

88 子どもが何も手伝ってくれないとよく愚痴っていましたが、自分の行動を改めて考えると原因は自分たち（親）にあるなと気づくことができました。早速謝罪会見を実践して今後の自分たちの行動を改めていきたいと思います。チームでもミッションとビジョンをコーチと確認してどのようなチームを目指すのかを再確認したいと思いました。

89 自分が選手として過ごしていた時の1つのもやもやがこの講演を聞いて理解できた。選手に主体性を身につけさせ、自分で考えさせるということは重要なことだと感じているし取り組んではいるが、うまくいかないことが多い。主体性を身につけるというゴールよりもそのプロセスについて詳しく聞ける場が欲しい。

90 本講演を聞いて、自分自身が指導者として、子を育てる親として子どもたちとの関わり方に改めて考え直さないといけないと感じた。指導の場面で、子育ての場面で言うことを聞くように抑圧する物言いをしてしまうことがあった。叱る、罵る、ミスに対して怒ることは行動のやる気、意欲を阻害する。また、挑戦することを阻害する。科学的根拠がそこにはあり実証もされている。やる気を出す子育て、教育、指導が大切であることを改めて感じた。失敗に対して否定せず、どうしたらいいかサポートする。寄り添う。認めて問いかけてチャレンジさせる。そこにフォーカスしてこれから子どもたちに接してあげたい。

91 指導者側だけではなく、保護者目線での関わり方を知ることができた。子供の主体性を育むために、指導者としてどう関わっていくのか、また保護者ともどう関わって行けばいいのかを考えることができた。自分のチームのミッション・ビジョンを明確にしていなかったため、そこを明確にして選手にも保護者にも伝えていきたいと感じた。

92 子供と親の立場を反対にしてる動画が印象に残った。

93 子どもの自主性を伸ばし、指導者と保護者が一枚岩になって関わり、子ども達がのびのびハンドボール出来るようになっていきたい、と思います。早速、朝自分で起きれるよう子どもと相談します。

94 干渉しない。と簡単にいうがとても難しいと感じた。親なので躾や教育の一環で致し方ない場合がある。そのなかで見極めやここは主体性を持ってほしい。自分で決めてほしいことは干渉しないようにしたいと思う。

95 初めてインテグリティ研修に参加しました。私も幼い頃からハンドボールをしてきましたが、その頃の指導方法と今の指導方法が全く違う事が、わかりとても勉強になりました。応援ハラスメントもついついしがちでしたが、今日の研修で学ばせていただいた事をこれから試していきたいと思いました。

96 今まで、指導者のみが考える内容の講演会が多かったですが…新しい視点の講演会で、良い刺激になりました。今回、学んだ事をプラスに今後、指導していきたいと思います。

97 子どもたちに対して考える機会を設けても答えを出す前についつい指示を出してしまうことに対して改善していこうと思った。「応援される人（チーム）になる、当たり前の方が当たり前ができる人に」と常に言っているが、チームのミッションやビジョンをもっと明確にして子どもや保護者が理解できるようにしっかり伝えることが大切だと思った。迷ったときにしっかり判断できるようにしたい。

98 チームでも家庭でも悩んでいる事があったので今日の講演を聞いてとても勉強になりました。また質問コーナーで身近な質問を皆さんしてくれてたくさん共感できる部分がありました。島沢さんは本当何でも答えられるのが素晴らしいと思いましたし、チームに欲しい存在だと思いました。講演を聞いて明日からの練習が楽しみになりました。

99 話が分かりやすく、色々な部活動を見てきて感じるがありました。指導者から学んだ事がこちらでもあって、あのコーチは素晴らしいコーチだったと実感してます。また講演があれば参加したいです。

100 指導者→生徒、保護者→生徒、という矢印の方向を変えてみることで視点が変わり、そこで見えてくるものに、自分の本質があるのかなと思いました。いろんな場面で視点を変えてみる、視野を広げてみるということが必要だなと思いました。

101 ヨーロッパのサッカーの啓発ビデオを見て自分たちの指導が子供達にどう伝わっているのか、考えさせられました。

102 今日は、お忙しいところ、貴重なお話をさせていただき、ありがとうございました。今回は保護者啓発ということではありましたが、前回の話題提供でもあった、チームとして保護者とどう関わるか、どう関わってもらうか…を踏まえて、指導者側としても、考えさせられた時間でした。指導者も、プレーヤー（子ども）を支える者として、同じ立場であることには変わりありません。勝った負けたのプレーヤーになることなく、彼、彼女らが（例えどんな環境であっても）置かれた場所で、華を咲かせられる…そんな育成を目指したいと、改めて思いました。そのためにも、まずは自分が変わることから、始めていきたいと思えます。

103 子供の成長には、ポジティブ、主体性、自己肯定感が求められる。待つ、気づき、ミッション、ビジョン、プロセス、問いかける、ミスも認めるなど、壁が必ずやってくるものを乗り越えられる力を見守り続けられる親力を身につけたい。

104 自分自身にベクトルを向けて、チームだけでなく、家庭のことも頑張ります。

105 チームだけでなく、子育てにおいても良い内容で素晴らしかったです。

106 生徒たちの主体性が大事だと気づいて、自分たちで練習メニューも外練のメニューも全部考えてみてと言って全部なげてしまっている状況がチームにあって、それが生徒の主体性のためにはなっていないのかもしれないなって今回の公演を聞いて考えさせられました。主体性とはなんなのか？自分にはなにができるのかこれから考えていこうと思った。

107 指導と子育てについて、とても参考になりました。指導者ではないですが、ハンドボール経験者なので子どもからもアドバイスを求められますが、逆に子どもに問いかけてみたいと思えます。

108 心理的安全性が家庭でも不足してるのかな？と感じました ポジティブシンキングでやる気、モチベーションが高まるよう支援していきたいと思えます。

109 自分が顧問についているチームでは、主体性に動けないと思っています。今回の講話で、ビジョンを持つ事を知り、それを自分の指導の中に落とし、指導していきたいと思えます。

110 いつもと異なり、保護者の質疑もあり、島沢先生の具体的な答えがとても良かった。ミッションとビジョンについては、様々な組織でも活用できそうなので、職場でも考えます。

111 第一線のジャーナリストの意見を聴けて参考になりました。

112 本日は貴重な機会をありがとうございました。生徒の主体性を育てながらの指導は、待つことの多くなると思いますが、その対処法や私自身の家庭での子供への対応など様々なことをご教授いただきました。本当にありがとうございました。

113 少人数学び合い形式でもう少し意識・理解を深めたいと思った。

114 もう少し噛み砕いた内容を聞きたかった。

115 今回、講演を聞いて本当によかったです。子供3人いますが、1番下の末っ子はものすごいマイペースで朝起きることも、準備もいつもギリギリです。そのため、毎回怒ってしまいましたが、自主性を育てるために見守るということもやっていってみたいと思いました。島沢先生が仰ったように本人が失敗することで、学ぶこともある。本人自身が失敗や経験、体験などを通して成長を見守ってあげたいと思いました。

116 周囲の声かけ、特に保護者が子どもに与える影響を聞きました。あなたは、どうしたい？など考えさせる、選択させる事が、今後の成長にも繋がる事がわかりました。

117 親として、指導者としてそれぞれの立場から色々と考えさせられる非常に素晴らしい講演でした。企画して頂いた関係者の方々に感謝申し上げます。

118 島沢さんの著作物も数冊読ませて頂き、今回実際にお話を聞かせて頂き、さらに感銘を受けました。ポジティブ、主体性、自己肯定感を常に心がけ小中学生を指導していますが、やはり待っていると心が折れそうになることもあります。今日の公演でまだまだ道半ば！もっと頑張ろうと思いました。ありがとうございます。

119 今日はこのような機会を頂きありがとうございます。インテグリティ研修を受けて今後の自身の指導方法にどんどん取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました！

120 子どもを信頼して「問いかける」ということを実践していきたい。、これまでの指導では、厳しい言葉を投げかけることは無かったが、自分の考えを押し付ける指導になってた振り返ることができました。また主体性を育てるためにもミッションビジョンを設定して共有していきたい。

121 分かっているつもりでも実際に映像で観ると再認識しやすかったです。勝利主義ではなくみんな楽しくスポーツをする！という事の大切さを知る事が出来ました。応援ハラスメントはまだまだあるような気がするのでこういった機会があると再認識の機会でもとてもよかったです。子供達から求めてられても親から求めてはいけません。その通りだと感じました。目の前に結果が出て無くても子供を信じて干渉しすぎないとあったのですがとても大事だと思います。子供に考えさせる事も自分の成長に対してとても大事だと思います。

122 プロの選手を呼ぶ時に呼び捨てや君づけちゃんづけは控えた方がいいと思いました！！

123 主体性を認めることは、子どもを認めてあげる安心、安全な環境に繋がれると思います。そこが、子どもたちが自信を持てる自己肯定感の向上に繋がると思いました。私は主体性を育てることは、一筋縄ではいかないと思っていました。島沢先生は、ミッションとヴィジョンという言葉を使っていますが、それは子ども達の人生経験や競技経験によって変わってくるので、そういう経験がなければ、時間がかかると思っていました。私は小学生の保護者ですが、まだまだ子どもに判断を委ねるのは難しいのではないかと考えていました。ですが、島沢先生な話を聞いて、それこそ子ども達を認めてあげる事になるとわかりました。間違ってもよい、トライした事に価値づけをし、トライアンドエラーで子どもの主体性が少しずつ育まれると思います。今回初めて保護者にも参加を呼びかけたと話してましたが、これからも保護者参加で開催してほしいと思います。

124 今日の講演会は衝撃を受けました！小学生のチームでコーチ陣と一緒に活動の見守りをしているのですが、いままでの子どもたちへの携わり方、伝え方が全く違っていたことに、さらにそれが子育てにも影響しているだなんてびっくりしました。失敗を恐れずに認めてあげて、問いかけて、チャレンジさせる！主体性と自己肯定感を高めるために、親の考えから変えなくてはいけないと感じ、家庭での取り組みも課題になりました。帰って保護者たちにも伝えたいです。素晴らしい講演に参加させていただきありがとうございます。

125 指導者、保護者、両方の立場について参加しました。考えさせることが多く、これまでの指導や子育てを振り返りながら拝聴しました。学校現場に勤めているので、スポーツや子育てだけでなく、職場での児童生徒への関わりにも生かしていきたいと思えます。

126 小さい頃から今日まで朝起きて寝るまで、一から十までガミガミしながら育てて来ました。これじゃいけない。と何度も何度も思っていたのですが、なかなか変えることができません。きっかけができて良かったです。

127 自分で考えて行動できる自主性を、今からでも育てたいと思います。魔法の言葉はないけど、我が子を信じて見守りたいと思います。

128 とても充実した内容でした。競技の枠を越えて、多くの指導者や保護者、教育関係者に聞いてもらいたい。研修内容で学んだ価値観がベースになれば、子どもたちのスポーツ環境はもっと良くなると感じた。保護者へのアプローチはとても良い取り組みだと思います。最後の質疑応答では、より身近な困り事を会場で共有してできたことが素晴らしいと感じた。

129 柔らかい話し方の中に いろいろと考えさせられる内容、ありがとうございました。子供達がポジティブ&主体性を持たせられるように自分自身"問いかけ"を頑張ったりしてみようかな。と思いました。保護者としても 指導者のお手伝いとしての立場からもお話を聞く事ができてとても良かったです。

130 今回の講演をお聞きして、ハンドボールの保護者として、また子育てする親として、自分を振り返るととてもいい機会になりました。頭では分かっていても先回りして注意してしまったり、失敗ないように守ってあげたりしてしまっている自分がいたので、今後はぐっと堪えて主体性を大切にしていきたいなと思いました。ありがとうございました。

131 指導者として参加しましたが、保護者の目線など多角的に考えるきっかけとなり、大変勉強になりました。問いかけることで、自分で考えさせ、主体性に行動できることが結果的に成長する一番のエネルギーだと感じました。ありがとうございました。

132 今日の講演を、自分の人生のこれまでとこれからを考えながら聞くことができました。子どもたちが主体性を持って取り組むためにはどうしたらいいか、私も悩んでいましたが、今回の講演を聞いて取り組めることが見つかったので良かったです。まずは、子どもたちと一緒にミッションとビジョンを作っていきたいと思います。また、私自信、指導の方向性を見失うことがあるので、自分のミッションとビジョンを掲げ、見失ったときは見返していきたいと思います。このような講演を開いてくださり、ありがとうございました。

133 体験談、経験談話が聞けて有意義な時間でした。保護者はあまり、選手、監督間に関わらないように温かく見守りたいと感じました。

134 研修などで講義を受けたことがありますが、実際に対面で研修を受けることができ非常に良かった。私自身のミッション、ビジョン。部としてのミッション、ビジョンをはっきりさせることが大切だなと感じました。子ども、選手への関わり方を改めて考えさせられる、自身のやってきたことは間違いではなかったと感じました。「選手に良き変容を促す」今後も子どもたちの未来のために微力を尽くしていきたいと考えています。親であり、指導者でもあるので今回の研修は学びになりました。ありがとうございました。

135 まずは子供を起こさない事から始めたいと思います。

136 これまでのインテグリティ研修会でもいろいろ気づかされましたが、今回は少し違った視点の講演でとても興味深く勉強になりました。これまで指導するにあたって自分が理想、目標としていた事や子供達に求めるものが、正しいのか曖昧な部分がありましたが、まさに正解を頂いたようなお話で、腑に落ちたというかスッキリしました。

137 指導者からは離れているので、保護者視点で受講しました。父親と母親の考え方が違うのは当たり前(多様性)で、今日の講習会の内容を伝えたあと、考えさせる時間をあげてみてはという質疑応答時の助言が参考になりました。

138 大人が《どう在るべき》と決めつけるのでは無く、子供たちが《こうなりたい》という気持ちになってもらう為に行動や発言をもっと、していこうとおもう。どうゆう時でもネガティブな発言をすると、子供達は自己肯定感が下がり続けてスポーツが嫌いになる。逆にポジティブな発言をする事で、失敗に恐れず挑戦し続けて、成功体験に繋がる。

139 講演会ありがとうございました。子育てや部活を通して日々悩む事も多くありますが、すぐ家庭でも実践出来る事が沢山あったので、これから部活を続けるを子ども達の支えることが出来るよう心がけたいと思います。

140 保護者向けの内容だったので、指導者側としては少し物足りない感じがしました。以前に実施した『保護向けのガイドラインを使ってみよう』の意見なども含めてディスカッション形式の講演などが良いのでは？と思いました。

141 本日の研修は、指導者や保護者に対してとても有意義なものになったと思います。主体性を伸ばすための、保護者としての接し方や指導者としての接し方二つの視点があったのでわかりやすかったです。また、ビジョンとミッションの示し方は全ての事に繋がっていると考えたので、仕事や部活に対しても示したいと思いました。貴重な時間をありがとうございます。

142 体罰や暴言ではなく、子供達の主体性を伸ばしながら話を聞き寄り添う事が大事なのかなと感じました。

143 子どもの為を思って支援していたはずが、いつの間にか逆転して、親の為の活動になってしまうと怖いと感じました。

144 なんちゃって主体性にならないように気をつける。子ども達が立てた MV に則った行動が出来てるかの声掛けが重要。

145 親として、指導者として、学びほぐす機会となった。まずは自分の子供から、4月からは自分で朝起きるようにしてみようと思う。旦那も講演聞いているので、話は早いと思う。

146 我が家の子育てについて考えました。家庭での子供との向き合い方、接し方、話し方、色々考える事や振り返りが出来て良かったです。

147 大人と子供が入れ替わった試合の映像がとても良い教材になりました。親・指導者は子供のため、子供は親の期待にこたえたいとお互いの想いがありますが、互いが相手の立場にたち、その想いが独りよがりになっていないかを常にチェックしながら互いに幸せになるような環境作りを目指していきたいと思いました。

148 その通りだと思う反面、保護者に理解してもらうこと、指導者としての学びなどをよりしていくことが必要だと感じました。相手を批判するようなことが多い県のハンドボール界と感じているので、他チームよりもまずは自チーム、子どもよりも自分に矢印向けながらやっていくことが大切だと思いました。

149 今回インテグリティという言葉は初めて聞きました。保護者として、子供にどう接したらいいか改めて勉強になりました。ありがとうございました。

150 はじめの動画2本は分かりやすくて良かったです。子供たちがスポーツを楽しんで人間としても成長できるように、親としてどうしていくべきか考えていきたいと思います。

151 スポーツにおける親の影響の大きさを改めて実感した。「親の影響は9割」という言葉が印象的で、干渉せず、子どもを信じることの重要性を学んだ。また、応援ハラスメントや指導のミッション・ビジョンの共有の必要性も強く感じた。

152 質疑応答が素晴らしかった。

153 二男のハンドボール部顧問の先生から声かけがあり参加させて頂きました。島沢先生のお話を聞いて、長男がバレーボールの選抜だった頃、伸び悩んでいた子どもにヤキモキして態度に出ていた自分が思い出され、反省しました。その子は現在22歳、当時は周りからのプレッシャーや自身の不甲斐なさを感じて辛かったと話してくれたことがありました。歳のはなれた二男にはスポーツをとにかく楽しんでほしいという思いが強く、自身でハンドボールを選びました。チームでは副キャプテンです。何よりハンドボールが好きで休日もボールが触りたいと言ってくるので、今を楽しめているのだらうと嬉し思っています。今日のお話を家族や保護者間で共有して、サポートしていきます。

154 講演有難うございました。指導者として保護者会でビジョンを伝えていますが、今日の講演を聞いて、しっかりと自分のビジョンをもう一度考え直そうと思いました。小学生の部活動は保護者の見守り当番や会計など保護者会のサポートが

ないと成り立ちません。毎年変わる保護者会ですが、毎年感謝の言葉を声に出して伝えていきます。大事なミッションだと思っています。今日の講演を聞いて、指導者としてやっていることに間違いはないと思いました。

155 ちょっと、理解が難しい部分もあったけど、勉強になりました。

156 島沢先生、貴重な講演ありがとうございました。私は高校からハンドボールに出会い、大学、一般までハンドボールに関わり今があります。ハンドボール指導歴は連続して5年ほどで、バレーボールの顧問歴が長く連続で10年、学校も異動でバドミントンやまた、去年はバレーを見ています。ハンド以外の部活を見る事が貴重な体験をしていると思ってポジティブに思えるようになりました。共通している課題、保護者との関係はどの種目も一緒だなあと感じました。また、直接保護者の意見も質疑応答で聞く事が出来、そして、島沢先生の言葉を聞いて、これでいいんだと顧問側としての考えをまとめるきっかけになりました。今回3回目の受講です。毎回、学校で紹介したい内容でありたいとです。しかし、話が上手じゃないのでできてませんが、ハンドボール部がなく、別の競技顧問ですが、ハンドを通して知っている仲間に出会える中で学べる環境を作ってくださいありがとうございました。

157 小学生の部活動においては、主体性を育てる、考えさせるなど、指導者、子ども、保護者で話し合っているけど、すぐには行動につながらないなどがありそうですが、続けていけばできるようになるのかなあと期待したいと思います。そうするには、まずは部活動のミッションとビジョンを明確にすることだと感じました。可哀想からは何も生まれない、という言葉は強く残りました。

158 スポーツにおける親の影響の大きさを改めて実感しました。親の影響が9割という言葉が印象的でした。子供を信じてあげたいと思います。

159 最初に流れたビデオはとても衝撃的でした。親も一生懸命だとは思いますが、一番は、やっている子供が満足しているか、楽しんでやっているかを考えるべきだと改めて学びました。子供中心でやる事の意義、主体性、言葉では簡単ですが、実践するにはとても難しいと思います。親としてどこまで手出しするかを考えていきたいです。

160 島沢さんの講話を聞き共感し勉強になりました。参加して良かったです。チーム監督、コーチ、選手が話し合いミッション、目標を掲げ、チーム一丸となって目標に向かって行く！そのなかで、父兄にも共有しみんなでチームを盛り上げていきたいと思っています。小学生の頃やっていたドッジボールチームで、指導者からの圧が強すぎて、子供達が委縮して1プレー1プレー監督、指導者の顔を伺い、イキイキしたプレーが出来ず困っていました。指導者とも話し合い、変えていこうと試みましたが、中々変わらず我慢のスポーツをさせてしまい良かったのか？悪かったのか？中学になりハンドボールをはじめ、イキイキしたプレー、笑顔でプレーする子を見てこれがスポーツだと確信しています。子供達、指導者を主体に父兄も楽しみながらバックアップができるチーム作りをしていきたいと思っています。自己肯定感の話も痛感しました。子供が「1点決めたよー」と話して来た時に、私は、「1点か、こんな動きしたらもう少し取れたんじゃないかー？」と言ってしまっているなーと気付かされました。これからは、(1点)(1プレー)をもっと褒めていこうとおもいます。

161 保護者さん向けだったので、指導者としての立場と親としての学びを得る事ができました。これから新チームに向けて指導者と選手でミッションとビジョンを明確にして楽しくて、こども主体のチーム作りを目指したいと思います。

162 島沢さん、今日は貴重な公演ありがとうございました。今回、娘のハンドボール部の指導者から、研修会の案内があり参加致しました。保護者として、共感出来る所も多くすごく、参加して良かったと思いました。最近、小学4年生の息子が所属しているドッジボールクラブを退団させたばかりで、退団させた事が本当に良かったのか？悩んでいる時に、島沢さんのお話が聞いて、少し楽になりました。ミッションの共有大事な事だと私も思います。指導内容、目標などを選手、保護者にも共有して欲しいと、ずっと伝えて来ましたがなかなか上手いかず、指導者からは暴言がひどく、スポーツを楽しむというより、指導者の顔を伺ってスポーツしているのを感じ、子供と話し合い、退団を決めました。退団した事が本当に良かったのか？分かり

ませんが、今の部活動のあり方、昔と違い指導者と共有しながら、私たち保護者も子供達をサポートしていけたら良いと思います。また、子供達が楽しんでスポーツが出来たら、嬉しく思っています。ありがとうございました。

163 指導者や保護者の思いだけでなく、子どもたち自身が「どうなりたいか」ということを指導者は把握しなければいけないと感じました。生徒のプレーを見て、思わず口出しをしたくなることが多いですが、生徒の自立を自主性を育成できるように、一旦立ち止まり、生徒に任せる勇気を持つと決意しました。

164 指導者としてどのような方法で子どもたちを伸ばしていく方がいいのか、常に悩み、試行錯誤を繰り返しています。大切なのは、子どもたちが練習や試合でハンドボールを楽しみながら、チームの仲間や周りの大人(指導者、保護者)、他のチームの選手や審判等の運営スタッフと自分との関係性の中で、将来必要な社会性を身につけていくことだと思い、チームの保護者にもそのように話をしています。今回の講習会では、子どもたちが主体性を持って活動を行い、周りの大人たちがまずは見守り、必要に応じバックアップすることが重要であることを再認識しました。

165 チームビルディングにおける最初の1番大事なミッションとビジョンを子どもたちと話し合いながら決め、それを保護者と共有していくことが大事だと感じました。子ども・指導者・保護者が三位一体となってそれぞれの立場で何が出来るかを考えプレーヤーズセンターの認識を持って成長を見守っていきたくと思います。勝った負けたではなくその先にある未来でハンドボールを通した経験を生かすことが出来るようなサポートをしていきます。

166 勝つことがすべてではなく、いかにしてスポーツを楽しむか、部活動を通して人間性を伸ばすことができるか、ということが重要だと再認識できた。一から十までこちらが教えるのではなく、生徒に問いかけて思考させ、主体性を持って取り組ませるように私も試行錯誤していきたい。

167 今日の研修は、指導者の立場で参加しましたが、1人の親としても、いろいろ考えさせられる研修でした。普段から教えたがりで、待つことがなかなかできないので、子供たちの成長、特に主体性を持たせることを考えると、双方向のコミュニケーションを取ることが大切だと改めて感じました。また反対に、正しく指導できているのかな、と感じる部分もあったので、今日の研修はとても良い機会になりました。

168 私にとって、講演会前半は、まさに耳が痛いお話となりました。放送されたサッカーをしている我が子やコーチに親が暴言をばく外国の映像?!程ではないですが、試合会場のギャラリから我が子へ大きな声をかけていました。自分の行為への恥ずかしさと子どもに対して申し訳ない気持ちになりました。部活を通しての講演会ではありますが、子育てにおいても共通するはなしだなと感じ、子どもを信頼する事、(部活でも勉強でも) どういう結果がでもそのままの君でいいと全てを受け入れることの大切さを改めて痛感いたしました。とはいえ頭でわかっていてもついつい口うるさくなる私のためつづりを今回の講演会を期に手放していきたいと思えます。ありがとうございました!

169 子どもたちを教育させてもらう立場として、大切なポイントを学ぶことができました。子どもたちの成長を1番に考え、主体性を大切に教育するということにもっと自信を持っていきたいと思えました。

170 生徒たちよりも保護者や顧問が情熱的になり批判や暴言っぽい発言をすることが生徒たちの意欲を下げる原因になってしまうのだと知ることができた。主体性を育むために干渉せずにと逆に保護者との対立が起きてしまう状況が多々あるのが現状でもあるのだと知ることができた。そういった状況も減らすためにも保護者と生徒と顧問で情報共有が大事なんだと感じることができた。

171 子供達、指導者、保護者…と、三者一体でと言われていることに、保護者としては入り込みすぎたなあ…と反省。やはり子供達と指導者での活動に保護者としての立場では一番のファンであり、見守ることが大切とわかっているのにできてなかったなあと再認識できました。指導者側にいるとわかることも保護者の立場になると我が子に熱くなっちゃう…講演会を聞くことで感情がリセットされて、再びスタートできることにありがたく思います。指導者として子供達の可能性をもっと引き出し成長を妨げないために主体性を持たせ、新チームスタートを切る前にこれから目標を定めてもらい自分のやるべきことは何なの

か考えてもらおうと思います。簡単に言えば、大人は子供達の活動の場に入っちゃいけない、見守るだけでいい、その通りですね。ありがとうございました。

172 生徒を指導するにあたって自分が目指す生徒像をしっかり持ち、それを生徒に伝え共有することが大事だと感じた。その中でプレー面だけでなく、学校生活の中での過ごし方等も意識しながら考えさせたい。

173 伝えたい内容は良かった。途中事例提示が色々あり、ポイントを絞った事例提示であれば、なお良かった。

174 今までは指導者の講習が多く、親目線での講習を受けたことがなかったためすごく勉強になった。子どもが私にできた際にはこの講習で学んだことを活かしていきたい。

175 チームだけでなく、家庭でも行えることを教えていただけたので、どちらでも実践してみようと思いました。自分の経験と今日教わったことを擦り合わせて生徒たちの人生の中で学生・部活生活が有意義で将来へためになる時間を一緒に作っていくように精進しようと思いました。

176 様々なスポーツの現場で指導の改革の話をお聞きますが、今大きな転換点にいるのだと思います。これまでの指導の結果ばかりに目を向けていたら、変化は起こらないし潰されたきたものにも目が向きません。より良いスポーツ環境にするために今日の公演は貴重な機会となりました。プレーをする上でより良い環境や声かけ、親御さんとの信頼関係など、動画を含めて改めて勉強になりました。

177 研修の開催ありがとうございました。部活や家庭での子供との関わり方でとても参考になりました。これまでの関わり方を振り返り、改善して行きたい部分がたくさんありました。子供の主体性を引き出し、それを伸ばせるように関わって行きたいと思います。

178 指導者だけでなく保護者向けの内容としてもとても勉強になりましたし、参加された方の色々な質問があった事はとても有意義なものであったと思います。いつも意識してる事ですが、あらためて何のために教えてるか？どうなって欲しいのか？を意識しました！

179 「子どもの行動の原因は、親や指導者にある。自分の子どもに自立起床が出来ているか？」という問いかけがあった時に、ハッとさせられました。どうしたら思うような成長をしてくれるのかと思い、色々課題を出したりして、こちら側の狙いに沿った結果を求めることはしていても、子供を信じて、我慢強く見守ることを自分自身ができていないのだなと痛感しました。子ども達が自分の意思で大人に助けを求めるまでは無理強いをしない事が長期的な幸せに繋がるという事を改めて実感しました。

180 スポーツにおける親の影響の大きさを改めて実感した。「親の影響は9割」という言葉が印象的で、干渉せず、子どもを信じることの重要性を学んだ。また、応援ハラスメントや指導のミッション・ビジョンの共有の必要性も強く感じた。

181 勝利主義の指導者にとっては沢山の課題がみつかったいい講演だったと思います。

182 とても良い勉強ができました。自分の事です話に当てはまる部分もあり。これからは子供達とも良い接し方を行おうと思いました。